

機能化学品事業

Functional Chemicals Group

次世代の環境対応製品や省エネルギー関連製品の開発に集中し、“危機を好機にする”施策を進めています。

環境に配慮した製品で、豊かな生活を支える

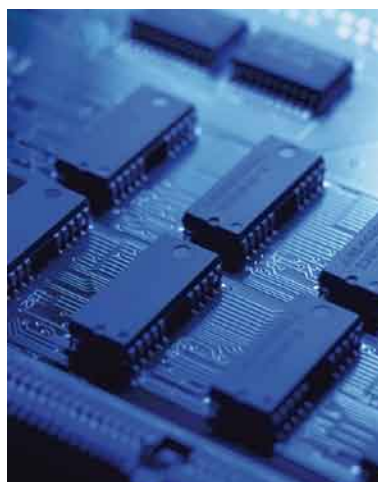
機能化学品事業本部では、保有するコア技術を活かし“環境に優しい製品”づくりを進めています。

あらゆる電気製品に組み込まれている半導体。その心臓部分を苛酷な使用条件から守るために、日本化薬の『環境対応型エポキシ樹脂 NC-3000』シリーズが使用されています。廃棄後のことも考慮し、ダイオキシン発生原因となるハロゲンを使用しない製品を実現しています。

また、省エネルギー化を推進する目的で、少ない消費電力で高輝度を実現する発光ダイオード(LED)の普及が急速に進んでいます。このLED分野では、透明性と耐久性の高い樹脂が要求されており、当社では市場要求を実現する『脂環式エポキシ』を開発しました。LEDの普及を、当社の持つ樹脂技術が支えています。

省エネルギー対策の代表格と言ってもよい太陽電池。この太陽電池をより低コストで普及させる目的で、色素の技術を用いた『色素増感太陽電池』の開発も進めています。

その他、環境を汚染する恐れのある物質が、製品に混入し、市場に流通することを防ぐ目的で、原材料や製造工程から環境汚染物質が製品に混入しない仕組み(グリーン調達)の強化を行っています。



半導体



次世代省エネルギー照明として期待されるLED

TOPICS



機能化学品事業本部
機能化学品研究所

川田 義浩

環境に配慮した製造技術と製品で省エネルギーに応える『LED封止材』

LEDは、低消費電力で長寿命、かつ水銀を用いない新しい照明として今後の市場拡大が見込まれていますが、LED素子や回路を外界雰囲気から保護する役割を担う『LED封止材』が必要不可欠です。

私たちは、この『LED封止材』を製造するためのキー材料となる『脂環式エポキシ』を設計、

同時にそれらを生産するために、環境に配慮した製造技術を確認しました。さらに『脂環式エポキシ』をベースとした複合化技術と評価技術によって、より高機能で市場の要求品質に応える『LED封止材』を開発しています。